




北半球で最南限、流氷



スリル満点の流氷体験！ 網走市/斜里町

経験豊富なガイドの案内で接岸した流氷上を歩いたり、流氷の漂う海で浮かんだり、カヤックやファットバイクができるオホーツクならではの体験ツアー。見渡す限りの流氷原はまさに別世界。“アイスブルー”に輝く重なりあった氷やそびえ立つ氷が、自然の力の神秘や大きさを感じさせてくれます。海中にクリオネがいることも。

※事業者により「身長140cm以上の方」などの参加条件があります。

 2月～3月(流氷接岸安定期のみ) ※詳細はホームページをご覧ください。

網走市 <https://visit-abashiri.jp/play/> **EKST**

斜里町 https://www.shiretoko.asia/list/drift_ice_experience



流氷砕氷船ガリンコ号Ⅲ 紋別市


MAP P27-A2

ガリンコ号は船首のアルキメディアンスクリューにより、流氷をガリガリと砕きながら進む世界で唯一の砕氷船です。他では味わえない船体の振動と間近に見える流氷は、迫力満点です。ときおりアザラシやオオワシなどが姿を現すことも。夏季は釣りや、オホーツク海クルージングが楽しめ、釣りは道具などの用意や指導もしてくれるので、初心者でも安心です。

紋別市海洋公園

 冬期(1月～3月) / 大人4,000円 夏期(5月～8月) / 大人3,000円

※運航時間など詳細はホームページをご覧ください※要予約

 紋別バスターミナルよりバスで約7分、「オホーツクタワー入口」下車

<https://o-tower.co.jp/> **E**

夏には釣りもオススメ



氷を望む。



地球の奇跡、流氷。

オホーツク海は、ロシアのアムール川の真水が大量に注ぎ込むことにより、表層50mまでの塩分が薄い2重構造になっています。それ故に冬には海水が凍結して氷塊が南下、北海道オホーツク沿岸にたどり着きます。これが「流氷」です。北海道オホーツク沿岸は豊穡の海であると共に流氷の最南限であり、地球環境観測上でも貴重な海といわれています。

流氷カレンダー（平年値）

	流氷初日	接岸初日	海明け日	流氷終日
	流氷が視界内の海に初めて現れた日	流氷群が接岸した最初の日	船舶の航行が可能になった最初の日	視界内の海面で流氷が見られた最後の日
網走	1月26日	1月30日	3月23日	3月28日
紋別	1月28日	2月1日	3月15日	3月21日

詳しくはこちら [海氷情報センター](https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.html) <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.html> **EIR**

網走流氷観光砕氷船 おーろら、おーろら3

網走市



MAP P28-C3

厚さ1mにも達する流氷原を氷にぶつかりながら豪快に進む「おーろら」。船の重さで流氷を砕くたびに船全体が振動するため大迫力です。約1時間の航海中、流氷の上で寝そべるアザラシや大空を舞うオオワシ、オジロワシを見られることもあります。また、令和5年3月には、網走小型流氷観光船おーろら3が就航しました。

網走市南3条東

1月～3月/運航時間など詳細はホームページをご覧ください※要予約

大型船おーろら/大人4,500円(1・3月)、5,000円(2月) 小型船おーろら3/大人8,000円

JR網走駅よりバスで約10分、「おーろら乗船場」下車

<https://www.ms-aurora.com/abashiri/> **E S**



流氷物語号

網走市～斜里町



流氷に埋め尽くされるオホーツク海や遠くに見える知床連山を眺めながら、網走駅～知床斜里駅間を駆ける流氷物語号。観光ボランティアによる車窓案内や車内販売が行われ、停車駅の一つ「北浜駅」はオホーツク海に一番近い駅として人気の小さな無人駅です。冬期間限定運行です。

冬期※運行時期・料金など詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.jrhokkaido.co.jp/travel/ryuhyo/>

E K S T

